

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和05年06月23日(金)

事務事業		子供学習支援事業		担当課	生涯学習スポーツ振興課	担当係	生涯学習係	管理番号	73112	
総合計画	大項目	2	次代を担う人と文化を育むまち		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務				
	中項目	1	共に学び成長が実感できるまちづくり		根拠法令 個別計画等					
	小項目	2	家庭・地域・学校の連携と協働による教育力の向上							
	主要プロジェクト									
事業概要		子供達が充実した休日を通うため、土曜日の午前中に市内小学校を利用し、小学生学習支援事業「がんばル〜ム」を実施する。 また、平日放課後子ども教室を試験的に実施し市内全校への拡大を図る。								
目的 ※何のために		子供達の豊かな人間性を育むため。								
対象 ※誰・何を対象に		市内小学生								
手段 ※どのように		・土曜日の学習支援事業「がんばル〜ム」の実施 ・平日放課後子ども教室の実施								
成果 ※何を求めるか		子供達の学力向上と、自主性、社会性、創造性を育む手助けを行う。								
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他()								
事務事業を 構成する 予算事業		区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額(円)
		一般会計	10	教育費	5	社会教育費	2	青少年育成費	放課後子ども教室等推進事業	11,181,357
本事業の 主な業務		・かんぱル〜ムの実施・運営							・	
		・平日放課後子ども教室の試験的な実施・運営							・	
									・	
									・	
									・	
									・	

2. 事業費(投入コスト)

単位: 円

区分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
年度別計画		・がんばル〜ム・平日放課後子ども教室	・がんばル〜ム・平日放課後子ども教室	・がんばル〜ム・平日放課後子ども教室			
事業費	予算(現額)	14,647,000	14,859,000	12,344,000	12,440,000		
	決算額	9,144,830	11,181,357	0	0		
	財源内訳	国支出金	77,000	0	0	0	
		県支出金	4,933,000	4,875,000	4,876,000	4,876,000	
		地方債	0	0	0	0	
		他特定財源	1,569,200	1,246,200	2,000,000	2,000,000	
		一般財源	2,565,630	5,060,157	5,468,000	5,564,000	
人件費	従事職員数(人)	0.95	1.18	1.18	1.18		
	人件費相当試算※	7,373,819	9,286,077	9,671,737	9,671,737		
総事業費試算		16,518,649	20,467,434	22,015,737	22,111,737		

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	目標値の算定根拠/実績値の出所		実績値							
	実績値の算出式									
活動指標 1	マネージャー・ちいきの先生数	目標値	人	170.00						
		実績値		131.00						
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
活動指標 2	がんばル〜ム実施回数（延べ開催数）	目標値	回	600.00						
		実績値		537.00						
	目標値の算定根拠/実績値の出所		市内小学校平均3 2回程度の開催を目標としている。 / 実施報告書集計による実数							
	実績値の算出式									
成果指標 1	がんばル〜ム参加者数（登録者数）	目標値	人	900.00						
		実績値		437.00						
	目標値の算定根拠/実績値の出所		全小学校在籍児童数に対する目標値 / 申請による参加申込者数							
	実績値の算出式									
成果指標 2	がんばル〜ムに参加した児童の満足度	目標値	%	95.00						
		実績値		93.70						
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
成果指標 3	がんばル〜ムに参加する児童生徒の割合	目標値	%	13.00						
		実績値		6.50						
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA〜Cの三段階にて評価します。
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に合う成果がでているかを評価します。
（評価基準）（A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない）

（1）事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	B	ちいきの先生の人数は、年々減少にある。令和4年度は131人が登録しており目標値（170人）を下回っているが、参加者数に対する、ちいきの先生の数に不足は生じていない状況である。また、がんばル〜ム実施回数については、感染症予防対策を徹底するとともに、学校行事が中止になった土曜日もがんばル〜ム実施するなど努めたことで、今年度は537回となった。以上から、評価をBとした。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	B	コロナ禍の影響を受け、参加者数は437人、参加の割合は6.5%と減少しており、目標値を下回っている。また、参加者の満足度は、93.7%と目標値（95%）をわずかに下回っている。コロナ禍において、参加を自粛する児童もあり、参加児童の増加は困難な状況であるが、参加した児童の満足度は高いものとなっていることから、評価をBとした。
			評価者 生涯学習係長 荻塚 文彦

（2）事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
（評価基準）（A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない）

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	「がんばル〜ム」は、土曜日に小学校の空き教室を活用し、地域の人材が指導者・相談者となって児童の学習支援を行っている事業である。子どもたちの居場所づくり、学習支援を通じて、参加児童が地域の大人とふれあうことのできる貴重な機会となっており、学校と地域の連携が図れた理想的な取組である。 事業実施に係る事務量は大きいですが、参加者の募集やアンケート調査の実施において電子申請を活用するなど、効率的に事務を行っているところである。
			評価者 生涯学習係長 荻塚 文彦

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和3年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	
達成状況及び その効果	

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	子供学習支援事業	担当課	生涯学習スポーツ振興課	担当係	生涯学習係	管理番号	73112
<div><div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input checked="" type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div></div>		評価の内容説明					
		コロナ禍における「がんばル〜ム」の実施は、学校との円滑に連携を図るとともに、がんばル〜ムマネージャー・「ちいきの先生」が感染症予防対策を徹底し、事故等もなく運営することができた。 また、平日放課後子ども教室は、令和3年度と同様に3校（深谷小学校・大寄小学校・川本北小学校）で開設し、各校において10回以上実施することができた。引き続き、平日における子ども教室の拡充に努める。					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者	生涯学習スポーツ振興課長 荻塚 洋明				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和5年度に実施する 改善・改革案 （事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善）	「がんばル〜ム」については、学校行事繁忙期により「がんばル〜ム」の実施が困難な期間（9月・12月・3月）の計画数を削減し、全体の実施回数を見直す。 また、「がんばル〜ム」で削減できる予算を、平日放課後子ども教室の運営費（謝礼・消耗品費・保険料等）に投入し、平日放課後子ども教室の事業拡大（実施校を3校拡大し6校で実施）を図る。
令和6年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 （事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善）	平日放課後子ども教室のモデル校を拡大していくことで、今後検討を行う

8. 評価指標グラフ

